一人でも多くの命を

坂本 文庫

僕は将来、医りょう関係の仕事について、たくさんの人の命を救いたいです。

今は、新型コロナウイルスのかん染が拡大して、医者や看護師などの医りょう関係の仕事につく人達が、非常に困っています。

医りょう崩壊という言葉があるほど大変な状況です。もしこの新型コロナウイルスが終息しても、またウイルスがかん染拡大する可能性があります。そういう中に、少しでも役にたて、一人でも多くの人の命を助けたいです。

医りょう関係の仕事について、ずっとたいとはもう一つあります。

ある日の事です。僕は、外国について、の調べ学習をしていました、たくさんの国を調べていた中で、僕はパレスチナという国が気になりました。パレスチナでは、紛争が起こっていて、幼くも命をおとしてしまう子どもが

いると書いてあり。ました。僕は衝撃を受けました。日本ではそんなこと無いのに、と思いました。そういう子ともが減、たらいいなと思いました。しかし紛争はそんな簡単に終わるものじゃありません。僕が「やめろ」と言っても終わりません。そこで僕は、紛争でけがを負、てしまった人達に手当てをして、一人でも多くの人の命を助けたいと思いました。

僕は二つのやりたい事を告げました。だから僕は口だけでなら誰でも言えます。だから僕は口だけでなく、失敗を恐れずに、どんどんチャレンジして、夢を叶えたいです。そして、この作文の中に何回も出てきた、「一人でも多くの命」という言葉を、自分の中で大切にしていきたいです。